

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	世田谷区喜多見 3-14-6
園名	喜多見こどもの家

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光（太陽の光）

<テーマの設定理由>

園のテラスの日当たりの良い特徴を活かし、「光（お日さまの光）」をテーマとして設定する。普段の遊びの中でキラキラ光るものに興味を示しているため、光によって物や色、形の見え方が変化することを楽しみ、光に対する興味を広げ、探求できるようにする。

2. 活動スケジュール

- ・ 0.1.2 歳児クラス（16 名）参加
- ・ 月に複数回の実施し、計画に入れていない日でも子どもの様子や天気の良い日を見ながら、月に 2～3 回活動する。
- ・ 2～3 月の屋外で活動を行うため、気温と子どもたちの健康状態に充分注意する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ 準備したもの
マット、小テーブル、様々な形状のブロックや子どもたちのお気に入りの玩具、水、透明アクリル水槽などの光教材、映像記録用ゴープロ、編集用 PC など
- ・ 日当たりの良いテラスの特徴を活かし、テラスにマットを敷き、落ち着いて遊べる環境を作る。
- ・ 天気が良い、陽の光が十分に差し込む日を選ぶ。
- ・ 水槽や玩具などの光教材素材や道具を準備し、子どもが興味を持って楽しく、主体的に取り組む、新たな気づきにつなげられるよう保育者が声をかけながら活動を行う。

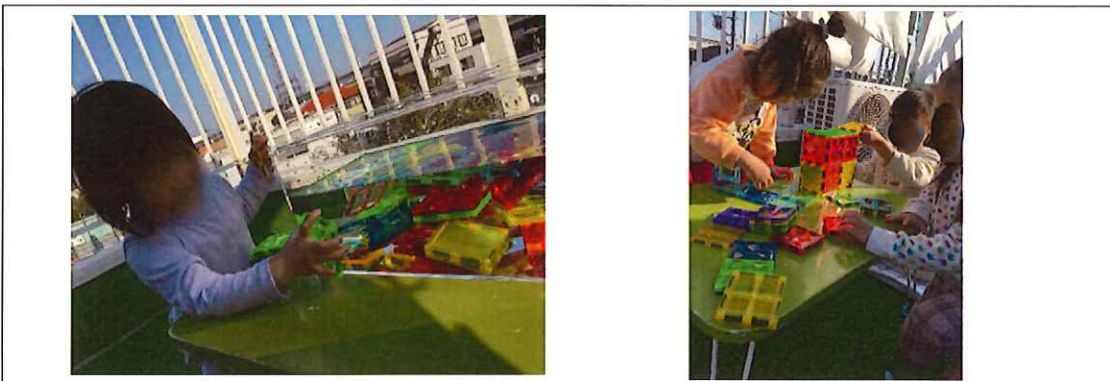
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

初めは水を入れた水槽を用意し、光の屈折やキラキラ光る様子を見て興味を持つようにした。キラキラする水面を見ながら光教材で遊び、水に映ったキラキラと太陽の光のキラキラの違いに目がいくよう声かけをしながら様子を見守った。光教材を水に入れて見ると更に色の変化やキラキラする様子に興味を示していたため、今後も興味が広がる環境を設定していきたい。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもたちの関わりや気づき、興味を大切にしながらもそばで見守りながら発見した事柄の発言に共感するようにした。キラキラした教材に興味を持ち、友達同士会話をしながらも同じ遊びをしていた。お互いの遊びをつなげて遊ぶ姿も見られた。子どもたちが制限なく遊びを楽しめるよう光教材の数を用意し2歳児で活動した。水のキラキラと教材のキラキラの違いを見たり楽しんだりするために準備していた水槽の中に教材を入れてみる児がいたことにより遊びの広がりや発見があった。子どもたちが興味深く活動する姿に保育者にとっても良い発見と学びがありました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動の次の日の午睡時間に振り返りを行った。初めはキラキラ教材に興味を示し、好きな物を形作ることに集中していたが、保育者が様子を見ながらキラキラのヒントを出すと次々と光が当たるように組み立て、テーブルに映る光に気づき興味を持って更に遊びを展開していた。一人の児が水槽に入れたらどうなるのか見たい。という思いから次々と教材を入れていきキラキラの変化を楽しむ姿があった。遊びが展開していくことから子どもの興味も広がり新たな発見があることを改めて実感し今後も様々な光教材を使用し、興味を引き出していきたいと思いました。